

- 1  **キリスト教神学入門**
山崎チャペル内一宮基督教研究所
安黒 務
E-mail: aguro@nth.biglobe.ne.jp
http://www2s.biglobe.ne.jp/ aguro/

2 **キリスト教教理入門**

- 1  1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
- 2  7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

3 **第五部 人間論**
● 17章 人間の教理への導入
● 18章 人間における神の像
● 19章 人間の性質の構成

- 4  1. 関連聖句
2. 像についての諸観点
1. 実体論的見方
2. 関係論的見方
3. 機能論的見方
3. 諸観点の評価
4. 像の性質に関する結論
5. 教理の意味合い

5 **序**
1. 人間はどこから来たのか
2. 異常な状態にある人間
3. 鍵となる表現
4. 「神の像」と何を意味するのか？

- 6  **1 . 関連聖句**
1. 創世記1:26 - 27、5:1、9:6
2. コリント11:7、ヤコブ3:9、使徒17:28
3. ローマ8:29、コリント3:18(エペソ4:23、コロサイ3:10)

- 7  2. 像についての諸観点

序

- 神の像についての幾つかの定義
1. 人間の真の性質→実体論的見方
2. 神と人間、人と人→関係論的見方

3.人間がなす事柄→機能論的見方

- 8  2. 像についての諸観点

1. 実体論的見方

1. キリスト教の歴史で最も顕著な見方
2. 心理学的・霊的特質 - ホモ・サピエンス
3. 最も重要な側面 - 理性?
4. 人間の内側に性質として存在

- 9  2. 像についての諸観点

2. 関係論的見方

1. 関係を経験すること
2. プルンナーとバルト
 1. イエスの人格の研究を通して
 2. 神の啓示から
 3. 神との関係の事柄として
 4. 人間関係、男女関係、社会との関係
 5. 普遍的、肯定的と否定的な関係
 6. 結論は引き出されない
3. 関係が生き生きとして存在する経験

- 10  2. 像についての諸観点

3. 機能論的見方

1. 私たちが遂行する行為
2. 創世記1:26 - 28: 神の像と支配の並置
3. 詩篇8:5 - 8は創世記1章に依存
4. レオナルド・バーデュイン
 1. 支配の思想
 2. 文化命令
 3. 弟子とせよ

- 11  3. 諸観点の評価

1. 関係論
 1. 十戒、二つの偉大な命令
 2. 関係論のもつ問題点
 3. 反実体的立場の背景
2. 機能論
 1. 神の像と支配権の密接な関係
 2. 困難 - 詩篇8と創世記1の結びつき?
 3. 創世記1: 神の像と支配権の行使を同等視?
3. 実体論
 1. 聖書は知的側面に特定していない
 2. 知的な未信者の方が知的にすぐれている場合も

- 12  4. 像の性質に関する結論

1. 直接の陳述なし、合理的な推論が必要
 1. 神の像は普遍的なものである
 2. 神の像は墮落においても失われなかった
 3. 神の像において程度差は示唆されていない
 4. 神の像は変わりやすい相互関係ではない
 5. 所有・行為よりも、存在のうちにあり
 6. 運命達成を可能とする人間のうちにあり能力
 7. 神の創造は明確な目的をもっている
2. 人間はなぜ神の像に造られたのか
 1. イエスは御父との完全な交わりをもっておられた
 2. イエスは御父の御心に完全に従順であられた
 3. イエスは人間に対して常に強い愛を明らかにされた
 4. 同様の御心を人間に抱いておられる

5 . 教理の意味合い

1. 私たちは神に属している
2. 私たちはイエスに習うべきである
3. 私たちは完全な人間性を経験しうる
4. 学問や仕事において長所がある
5. 人間は価値ある存在である
6. 人間において普遍的である
 1. 人間には尊厳がある
 2. 他者の合法的な支配権を侵害すべきでない
 3. さらに広範な領域への意味合い
 4. 胎児はすでに人間なのか
 5. 神の像に造られた神の作品